

NO.32

情報ステーション

しろやま



快晴のもと 第53回 城山地区体育祭が開かれる

今年の体育祭は、毎年開催会場に使用している城山中学校の校庭が使えるかどうか、から始まりました。

体育館新築工事のため校庭が狭くなり、校舎前の駐車場が使用できない、また実施するにあたり参加者の安全は確保できるのか等、問題が数多くあったからです。

それでも体育協会役員全員の意見はみんなのために、ぜひ体育祭を実施したいとの気持ちから問題に取り組んでいきました。実行委員会開催までに体育祭の実施の有無を判断するために、役員総出で幾度も中学校、また、関係機関を訪れ、打合せ、意見の交換、会場のレイアウト作り、グラウンドの実測など繰り返し行い、半年間かけてやっとゴーサインがでたのでした。

今年の実行委員会では時間を忘れるほどに意見を交わし、熱く語り合い、各種団体をはじめ学校関係、市民センター、地域の方々の協力をいただき、一丸となった体育祭になり参加者の笑顔が体育協会役員全員の喜びとなりました。また10月12日の当日は天候にもめぐまれ、各競技に多数の自治会が参加しにぎやかな大会になりました。なかでも小学生のリレー、百足競争、町内対抗リレーは観客総立ちにて応援し、城山体育祭にしかない城山競輪は最高の盛り上がりでした。

体育協会 事務局長 高木 生一



▲百足リレー



▲ファミリーリレー



▲城山競輪



▲みのりの秋

城山地区 文化祭・農業祭

城山地区文化祭・農業祭が秋晴れのもと、11月1・2日開催されました。新鮮な農産物の販売やふるさとの味コーナーの模擬店、力作が揃った作品展、ホールではサークルや小学生等による発表と多彩な催し物が行われました。ホールアトラクション部門では、ここ3年サークル活動の皆様方一人一役ということで進行し、サークル全員の御協力がありまして、笑顔あふれる会場で満席となり大変喜ばしく思いました。サークル仲間の人達との親睦がより深まり健康で発表できる事を願い、来年も楽しみにしています。

ホールアトラクション部門実施員長 城山 旭



▲各種団体による模擬店



▲サークルによるステージ発表



▲大谷石あかり

●城老連スポーツ大会●

好天に恵まれた10月19日、城山中央小学校校庭に会員300余名、来賓30名が参加して、記念すべき30回大会が開催されました。

立岩健友会の佐藤会長の力強い選手宣誓に引き続き、11種目の競技に熱戦が展開され、昼休みの和楽おどりと田下子どもお囃子会による吉兵衛派五段ばやしは圧巻でした。

老人クラブ連合会会長 大垣 英三



第9回 フェスタin大谷 2008

第9回フェスタin大谷2008が、去る9月13日・14日の両日大谷景観公園を中心に盛大に開催することが出来ました。幸い初秋の好天に恵まれ、近隣を含め多くの方々の参加と協力を頂きながらの開催となりました。

地域振興が目的の、フェスタin大谷は、年毎に周辺地域の理解を頂き学校を中心に幼稚園や保育園、また交通整理は私達



がと安全協会の方々や多忙を圧して消防団員の協力を頂くなど地域に根をつけた開催となり心よりお礼申し上げます。

昨年からの参加の、石あかりグループが醸し出す石に対する想い、石の町大谷に賭ける期待など、炎と共に開催を一段と盛り上げております。ステージには日頃の成果を発散するが如く、力強い歌声、腹に響く太鼓と汗だくの演技に魅了され、自然に出てしまう観客の拍手、心打たれて時を忘れる人も、また石細工で技に挑戦する親子の姿など、会場は一日中賑やかなときが過ぎていました。大谷の崩落事故から間もなく20年の歳月が過ぎ様としているとき何時までも、仕方がないと諦める事なく、これからの祭典を機に石あかりの炎のごとく、力強くフェスタin大谷の開催を進めて参ります。更なる支援を御願い致します。

フェスタin大谷実行委員会 大垣 忠義

ジャパンカップサイクルロードレース

10月25・26日、宇都宮市森林公園を舞台に繰り広げられました。



▲スタート地点



▲田野の交差点

羽下まんぷく祭

11月9日、羽下まんぷく祭が開催されました。まんぷく祭は平成元年から始まり、今年で20回目となります。今年は10年前に埋めたタイムカプセルを掘り出すイベントがあり、ドキドキしながら掘り出すのを見ていたみんなから歓声が上がりました。餅つきやりんごの皮むき大会、玉入れなどがあり、最後にビンゴゲームで盛り上がりました。バーベキューやうどん・そばなどを満腹食べて、楽しい一日を過ごすことができました。 羽下自治会長 吉野 敏光



西の宮 七夕まつり

— 今年も盛大に実施されました —

三世代交流を目的とした第5回西の宮七夕まつりが7月26日(土)西の宮ふれあい公園で行われました。前日から会場設営の準備が始まり、当日は七夕の飾りつけを行いました。定番の焼きそばやフランクフルト、かき氷、唐揚げ、飲み物の模擬店などの準備が整った午後3時に、吉兵衛流五段囃子でスタート。すいか割り大会、輪投げ大会、雨情ヨサコイ隊の演舞、城山中吹奏学部の演奏、大谷石灯りが点灯したムードある中で豊悠会婦人部のフラダンス演舞、生田流玉遠会による箏曲演奏と続き、夕闇迫る中で最終のビンゴゲームがにぎやかに行われました。例年以上に



参加者も多く、こども達にも楽しい思い出ができたことでしょう。途中、佐藤市長や船田衆議院議員を始め市会議員や学校の先生方、関係団体の代表者のご来場をいただき、例年以上に盛大な七夕まつりになったことを喜んでいます。

西の宮自治会副会長 村田 金市



我が地区に伝わる祭り

我が地区(野尻、滝、大久保、長坂)には先祖から代々引き継がれてきた“天棚”がある。この天棚は、以前は城山南小学校の上の校庭南角(当時は校庭が上と下に分かれてた)に天棚小屋があり、そこに保存されていた。昭和24年頃4地区の人達が集まり、天棚

を維持していく為に虫干しを兼ね、校庭で天棚を組み立て天祭を行った。その当時の行人(祭礼を執り行う人)は注連縄を張った姿川(滝地区、道場面橋下)に入り、淋浴をして体を清め、白衣を着て天棚の上に立ち、神様に願いを唱え千渡かけして祭りを行った。この時の様子は私が13歳の頃であった様に記憶している。昭和29年以降祭りは何回か行われたが其の後暫く中断していた。南小学校が野尻地区に移転され、昭和48年に新校舎が完成し、校名も明保小学校となった。その時を契機に代々引き継がれてきた天棚を永く保存し、“天祭”を後世に伝えて行く為、昭和51年に野尻、長坂天祭保存会が結成された。その年野尻琴平神社境内に天棚倉庫が完成し、そして新しい校庭で保存会結成第1回为天祭が実施された。その時の初代会長が阿部安夫氏である。この祭りは3年毎に執り行われる事になっている。祭礼を執り行う行人3人は日光二荒山神社大祭に参加し御払いを受け、霊峰男体山に登拝する。登拝の朱印を背中に押印した白衣を着て日光東照宮造営時の職人(彫り師)の作と伝わる天棚の上に立ち神の代役として諸々の神を呼び、天災を排除し、五穀豊穡、家内安全を祈願する。このお祭りする姿を見ても先祖を偲ぶ事ができる。今年で保存会結成32年を迎える事となり、8月9日に結成後11回目の天祭盆踊りが盛大に開催できました事は、一重に野尻、長坂両自治会の皆様、そして実行委員、保存会会員の皆様方の物心両面のご協力の賜物と感謝し、心から厚く御礼申し上げます。 野尻、長坂天祭保存会会長 鈴木 嗣夫



城山クリーンアップ2008活動報告

8月2日、城山クリーンアップ2008は晴天に恵まれ、地域の方62名を含め410名で地域をきれいにすることができました。たいへんありがとうございました。今年度は(株)JTより、ゴミ袋と軍手の寄贈がありました。5年目をむかえ、ますます活動が充実しております。これからもご参加お願いいたします。



カーブミラー清掃

交通安全にも貢献したい。

大谷の入口がすっきりしました。58名で



市営駐車場にて
156名で



約600kgのゴミを
回収しました



ジャパンカップで有名な森林公園通りにて
35名で

地域の方も参加いただき、共に汗を流しました。



多気不動尊近く萩の道にて 46名で

西の宮防犯パトロール隊“地域安全貢献賞”受賞



▲西の宮防犯パトロール隊の皆さん

9月29日東京明治記念館において開催された、財団法人全国防犯協会連合会・警察庁主催の「平成20年全国地域安全運動中央大会」において、地域安全功労ボランティア団体として、全国防犯協会連合会長より“地域安全貢献賞”を受賞しました。

防犯パトロール隊は、平成15年7月1日に結成され今日に至っております。パトロール隊結成の動機は、平成14年10月頃より、自治会内で空き巣侵入事件をはじめ車輛荒らしが多発、会員の中より防犯パトロール隊結成の機運が高まり結成に至ったものです。今回の受賞は、地元交番との連携による昼間のパトロール活動や平成17年12月の今市事件以降の下校児童の見守り活動等が高く評価されたものです。この受賞を契機として、隊員一同心新たに「安全で住みよいまちづくり」に取り組んでいきます。

防犯パトロール隊隊長 野崎 栄三

第34回を迎えた野尻体育祭



11月2日午前9時雲ひとつ無い青空の下、花火の合図により体育祭の入場行進が始まりました。

第1回の体育祭は、昭和50年11月3日に行われ、今年で34回を迎えました。その頃の野尻は、あちこちで子供が走り回り母親の子供達を見守る姿が見られました。多くの子供達は、成人し野尻を離れ新天地で所帯を持っています。両親達は、夫婦二人の生活となり、年を追う毎に高齢化が進み体育祭への出場を辞退する班が増加して来ました。自治会の年間行事で、一年を通してお年寄りから幼子まで、お隣近所と一日一緒に時を過ごすのは、この体育祭だけです。

来年は、11月の第1土曜、日曜日を、野尻へのUターン日とし家庭では、子供らとの語らい、体育祭会場では、家族全員が体育祭に参加し、旧友達との再会に話の花が広がり野尻の大同窓会が、出来ることを願います。

野尻自治会長 小原 良一

城山ジュニアリーダーズクラブ

—仲間づくりをしています—

こんにちは。私たちは、「リーダーズクラブ」の仲間たちです。地域の小・中学校が集まって来る“場”として城山地区市民センターで活動しています。「勉強」や「部活」などありますが、時間を上手に使うようにしています。

定例会が月2回あり、そこでは、遊んだりおしゃべりをしながら交流が深まっていき、信頼しあうようになり、とても居心地が良くなります。

そしてそれが、地域活動につながっていきます。みなさんは、『子ども広場』や『子どもまつり』に参加されたことがありますか。実は、私たちが開催していた事業なんです。

これからも「考えること」「実行すること」を忘れず、活動を続けていきます。小学校から高校生まで入会できますのでいつでもどうぞ。(城山中3年 F)



サポーター

地域のおとなの仲間たちです。活動の資金や場所の確保、知識や技術の伝達、そして精神面のサポートをします。また、工作や野外活動は、おやじの会が役割買っています。子どもたちの未来を！！と願っている熱き心を求めています。

城山太極拳愛好会



私達、城山太極拳愛好会は、平成19年4月に発足したばかりの、まだ歴史の浅いサークルです。深谷先生のご指導のもと、60～70歳代の元気な女性9人と男性1人で活動しています。シルバー世代の集まりのため、「ああ、また間違えた～」「次なんだっけ、忘れちゃったわ～」などと、大きな声で笑いながら、毎回楽しく練習に励んでいます。

太極拳は動きがゆっくりのため、年配者にはぴったりの運動ですが、それでも2時間も練習をすると、びっちり汗をかきます。練習終了後は、スッキリした気分で家路に着き、その夜はぐっすり眠ることが出来ます。太極拳のおかげか、最近では風邪で練習を休む人も少なくなってきました。

日頃の運動不足解消・ストレス解消に、また健康維持・若さ維持のため、これからも、楽しく練習に励んでいきたいと思えます。

興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください。もちろん男性や若い方も大歓迎です。
練習日 毎週月曜日(第1～第3) 時間 夜7時～9時 於 城山地区 市民センター

「しろやま」水田の初めのころを考える(2)



写真は西耕地側の「琴平神社」に残されている大谷石の「ほこら」最初の頃の本殿と思われます。

—水田のはじめのころ・アラハリ村は洪水に悩まされた—

古代以来、山や谷の傾斜面に棚田を築造しました。山清水のあるところに山間部の傾斜地に、田んぼや住まいを好んで設営しました。最初から平野に水田を作らなかつたのは何故でしょうか。平野を喜ばず、山や谷の傾斜地が好きでそういうところに生活の場を決めた私どもの祖先は、関東平野の加賀平野、河内平野が眼前にあるにもかかわらず、平坦地はなるべく避けてきています。

大平野(おおきな川の沖積平野)の場合は、ちょいちょい河川の氾濫のために、遊水がたまり悪水になり、当然ながら、稲が育たないことを知っていたのでしょう。傾斜地ではうまくゆきます。それが平野部では…排水の知識・技術がないので…できなかつたのです。これでは、稲は育ちません。

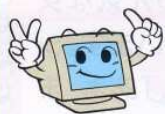
平坦地において悪水を排除して、いい水を大きな川から引き込み、さらに灌漑用水網を展開させるようになるのは、関東平野では、12世紀、加賀平野では13世紀、河内平野では、17—18世紀という極く近い過去のことでありました。

「荒針・3000石」という言葉が残されています。一石=2俵半つまり7,500俵とれる水田地帯がすでに300ヘクタール(町歩)江戸時代にあったといわれているわけで、天領=旗本の相給地(複数のひとの知行地)に指定されています。

古くは東耕地と西耕地にわかれ、僅か500メートルのところに洪水防止を祈願する「琴平様」の神社が二つも建てられています。米作りには天水=雨降りは欠かせないものですが、降り過ぎるのは歓迎されません。ましてやここは山間部とはいえ、赤川添いの緩やかな平坦部が纏まっていたのです。少し降っても、なかなかうまく排水されません。悪水が溜まります。洪水の被害を少しでも小さくして頂くとして、最後は神様に頼むことにしたのです。近年の治水工事は川底を浚わず、堤防を高くするだけです。溢れることはなくなりましたが、排水が悪いのはそのままです。時には逆流して、床上浸水も稀には発生したそうです。

宇都宮市文化財解説・観光ガイド 永森 庄仁

城山地区ホームページが楽しい!



「情報ステーションしろやま」の創刊号(1号)から最新号までを収録しております。是非ご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www2.ucatv.ne.jp/~shiro333/>



「情報ステーションしろやま」の企画編集員・通信員を募集しています

城山地区コミュニティ協議会が発行している当紙「情報ステーションしろやま」の編集作業や記事の取材などをしていただけるスタッフを募集しています。年齢・経験等は無関係です。是非、ご連絡ください。

問い合わせ先：城山地区市民センター内
「情報ステーション しろやま」担当まで

編集後記

毎年、城山の秋はフェスタイン大谷から始まり、体育祭、農業祭、文化祭等数多くのイベントが開かれます。

編集をする者にとっては、記事にする材料が豊富で喜ばしい時期になる一面、取材する時間も増えてきます。イベントの担当者としての仕事をしながら取材、参加するマルチタレントもいます。それぞれの役割を楽しみながら、喜ばれる紙面になればと思っています。

広報部一同

城山地区の人口(平成20年11月末日現在)

●総世帯数 8,928世帯 ●総人口 23,240人
●男：11,477人 女：11,763人

編集・発行



城山地区コミュニティ協議会

〒321-0345 宇都宮市大谷町1059番地5
宇都宮市城山地区市民センター内
TEL 028-652-4794 FAX 028-652-5570